

4 人とヒグマの共存に関する道民の意識について

担当部課：環境生活部環境局生物多様性保全課
(011-204-5205/内線 24-384)

◆調査の目的

「北海道ヒグマ保護管理計画」の適正な推進を図るため、道民の野生のヒグマに対する意識について把握するため。

◆各設問の主な調査結果

問1 ヒグマとの接触の可能性のある行動

(1) ヒグマの住む山野に出かける

- ①全くない (68.8%)
- ②年に5日未満 (20.2%)
- ③年に2週間未満 (4.9%)

(2) ヒグマが出没する農地に出かける

- ①全くない (78.9%)
- ②年に5日未満 (10.6%)
- ③無回答 (5.7%)

問2 ヒグマについての経験(過去5年間)(複数回答)

- ①経験はない (79.7%)
- ②糞(ふん)や足跡などを見た (14.2%)
- ③遠くから目撃した (9.5%)

問3 あなたが行っているヒグマ対策(複数回答)

- ①鈴など音の出るものを持参 (38.3%)
- ②特に何もしていない (34.5%)
- ③出没情報に気をつける (33.6%)

問4 北海道のヒグマに関する認識(複数回答)

- ①ヒグマに餌を与えることは良くない (69.0%)
- ②ヒグマは北海道の象徴である (41.6%)
- ③ヒグマの保護は必要だ (34.4%)
- ③ヒグマによる事故や被害の責任は被害者にもある (34.4%)

問5 ヒグマに対する考え方

A：捕獲して積極的に数を減らすべき B：できるだけ殺さずに対応すべき

- ①どちらかというともB (35.4%)
- ②どちらでもない (21.4%)
- ③B (18.3%)

問6 今後さらに力を入れるべきヒグマ対策(複数回答)

- ①ヒグマの生息地の環境保全を図るべき (64.1%)
- ②ヒグマの正しい知識を普及すべき (63.3%)
- ③ヒグマに対する地域の危機管理体制を構築すべき (52.9%)

問7 問6のうち特に重要と考える取組(優先順位1位)(複数回答)

- ①ヒグマの正しい知識を普及すべき (26.7%)
- ②ヒグマの生息地の環境保全を図るべき (25.7%)
- ③被害防除対策を進めるべき (21.2%)